

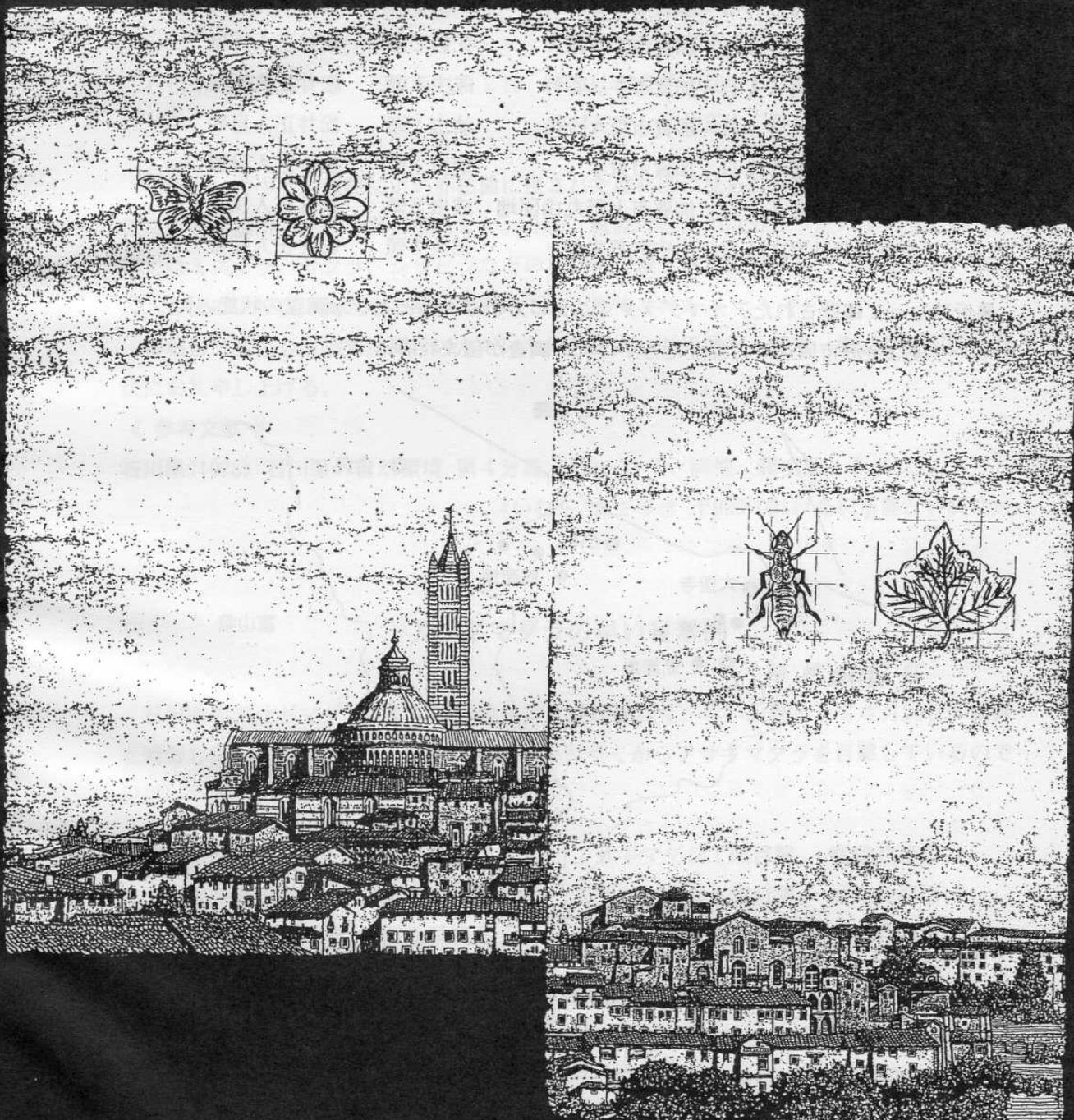
翔

百万石蝶谈会

June

No. 132

1998



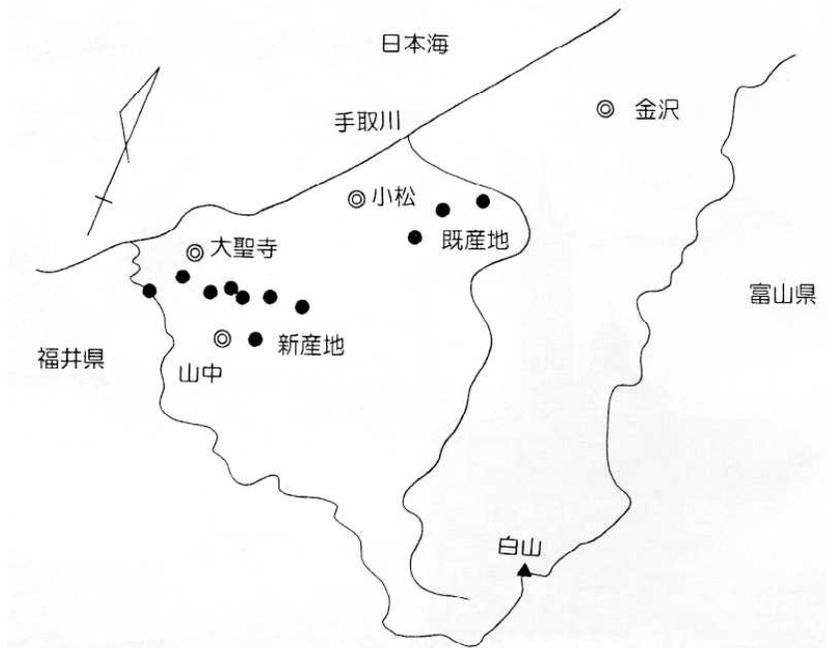
加賀南部でアオマダラタマムシを確認

松井正人

これまで小松市北東部の辰口町周辺でしか確認されていなかったアオマダラタマムシを、加賀地方南部の低山各所で確認したので報告する。本種は、県内に広く分布するソヨゴの枯死部を食べるので、県下に広く分布すると考えられている。

| | | | | |
|---------|-----|-----------|------|--------|
| 1998年4月 | 4日 | 小松市菩提 | 成虫2頭 | 松井正人採集 |
| 1998年4月 | 4日 | 加賀市宇谷 | 成虫3頭 | 松井正人採集 |
| 1998年4月 | 4日 | 加賀市二ツ屋 | 死骸2頭 | 松井正人採集 |
| 1998年4月 | 11日 | 加賀市牛ノ谷峠 | 成虫1頭 | 松井正人採集 |
| 1998年4月 | 11日 | 加賀市百々 | 幼虫1頭 | 松井正人目撃 |
| 1998年4月 | 11日 | 加賀市荒木 | 幼虫1頭 | 松井正人目撃 |
| 1998年4月 | 11日 | 加賀市上野丸山団地 | 成虫3頭 | 松井正人採集 |
| 1998年4月 | 11日 | 山中町菅生谷 | 死骸1頭 | 松井正人採集 |

最近になって確認されたアオマダラタマムシの分布は、ほとんど未調査の状態といっべく、今後は金沢市周辺から能登地方かけての調査が望まれる。



《 参考文献 》

松井正人・富沢 章(1996)小松市立博物館所蔵の昆虫標本. 翔(119):6.

井村正行・飯田浩英・松井正人・中西重雄(1996)アオマダラタマムシの追加記録. 翔(123):1.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

石川県のツヤハダクワガタの追加記録

井村正行

本種の記録は、高羽正治氏によって報告された1例だけ（石川県, 1978）であったが、白山麓で本種の調査をしたところ、数頭の成虫と多数の幼虫を確認することができたので報告する。

ツヤハダクワガタ *Ceruchus lignarius* Lewis

石川県白峰村市ノ瀬 1997年10月19日 成虫2♀、幼虫多数採集

井村正行、松井正人、西原昇吾

石川県白峰村市ノ瀬 1997年11月2日 成虫4♂6♀、幼虫多数採集

井村正行、松井正人、野中 勝、杉村明道

本種は、カツラの根際に近い赤枯菌に侵された腐朽部に見られ、標高約1000m~1200m位にある5箇所のカツラから確認した。今回、確認できたのはカツラだけであったが、他県ではミズナラ、サクラ、シラビソなどの赤枯菌に侵された腐朽部からも確認しているので、今後はより広い範囲から記録があるものと期待される。

本報告に当たり、調査に同行いただいた松井正人、西原昇吾、野中 勝、杉村明道の各氏にお礼申し上げる。

《 参考文献 》

石川県(1978) 石川県の自然環境 第4分冊 昆虫、クモ、両性、爬虫類：1-147.

《いむら まさゆき 〒920-0211 金沢市湊2-116-70》

アサギマダラの早い目撃例

嵯峨井淳郎

石川県のアサギマダラについては松井正人氏が詳しく、早い記録として4月29日の記録を報告している（松井正人, 1993）が、今年も早くからアサギマダラを目撃しているので記録しておく。

1998年4月12日 金沢市下谷 アサギマダラ1頭目撃 嵯峨井淳郎

1998年5月10日 金沢市四坊高坂 アサギマダラ1頭目撃 嵯峨井淳郎

1998年5月4日 河内村板尾 アサギマダラ1頭目撃 嵯峨井淳郎

《 参考文献 》

松井正人（1993）アサギマダラの早い採集例. 翔（103）：7.

《さがい じゅんろう 〒921-8145 金沢市額谷3-18-2》

ウスバシロチョウの早い記録

松井正人

石川県のウスバシロチョウは、一般に5月上旬から観察されているが、今年は例年より早く4月24日から観察された。

1998年4月24日 金沢市駒帰 1頭目撃 松井正人

雪解けとともに孵化する本種の発生は、雪解けに大きく左右され、暖冬の年は発生が早くなる。これまでの早い記録も暖冬の年のもので、1989年4月29日(百万石蝶談会編集部, 1989)だった。

暖冬の様子は、気象庁から発表される桜の開花日によって平年と比較する事ができ、平年の開花日は4月7日なのに比べ、1989年は3月26日、1998年は3月31日に開花した。

《参考文献》

百万石蝶談会編集部(1989)短報18. 翔(77):3.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

セミの記録を集めよう

松井正人

「セミは種類も少なく、あまりにもポピュラーで、一般の人にも良く知られている。これが災いして正確な記録が蓄積されていない。」とは、徳本 洋氏の弁(徳本, 1995)。この報文後は、若干ながら本誌にセミの記録が掲載されるようになったが、丸3年経った現在においても、まだまだ石川県全体の分布を語るだけの記録は蓄積されていない。

これまでに蓄積されたセミの記録は、1997年末で407件。種別に見るとニイニイゼミが77件と最も記録が多いが、石川県内に広く分布すると思われる種としてはいささか少ない。ニイニイゼミの5倍地域メッシュ図を描いてみても、ほとんどの地域は記録されていない。その他の種については押して知るべしである。

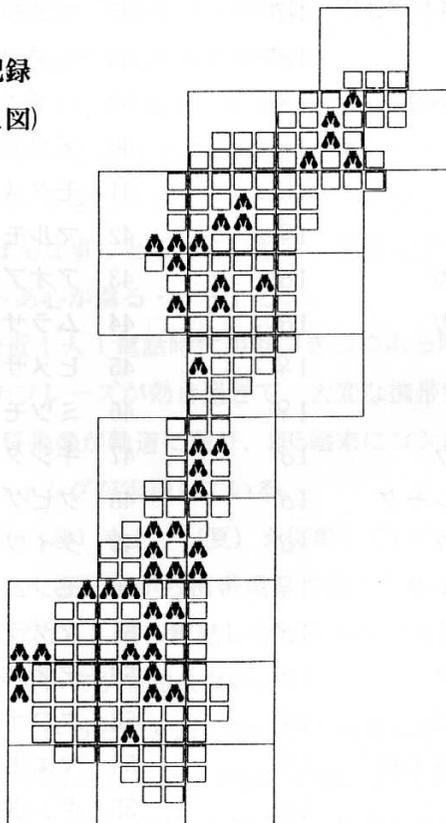
虫を記録するには、まず見つけなければならず、さらには同定しなければならない。しかし幸いなことに、セミは種類も少なくポピュラーで、一般の人にも良く知られているだけに、「声」を聞くだけで記録することができる。ただし、確認方法は「声」とする。弱点は、エゾゼミ類3種が区別できないことと、セミはかなり遠くまで飛ぶので、成虫がいても発生地とは限らないことである。この弱点ゆえに、「声」で記録したと明記することが必要になる。

今までセミの記録が無かったのは、県内の昆虫関係者の怠慢とも言えるので、今後はこまめに記録し、本紙のような会誌に発表するようお願いしたい。

石川県におけるセミの記録 (1997年末)

| 種名 | 出現期(宮武・加納, 1992) | 県内の出現期 | 記録の数 |
|------------|------------------|------------|------|
| 1 ニニイゼミ | 6月下～9月上 | 6.25～8.31 | 77 |
| 2 アブラゼミ | 7月～10月 | 7.16～10.10 | 43 |
| 3 クマゼミ | 7月中～9月上 | 8.1～8.21 | 12 |
| 4 コエゾゼミ | 7月上～8月下 | 7.29～8.26 | 7 |
| 5 イゾゼミ | 7月下～9月上 | 7.20～9.29 | 33 |
| 6 アカエゾゼミ | 7月下～9月上 | 7.19～8.10 | 2 |
| 7 ハルゼミ | 4月下～6月下 | 5.11～6.17 | 16 |
| 8 イゾハルゼミ | 6月中～7月下 | 5.22～7.29 | 16 |
| 9 ヒゲラシ | 6月下～9月上 | 7.9～8.17 | 49 |
| 10 ミンミンゼミ | 7月下～9月下 | 7.26～10.3 | 38 |
| 11 ツクツクホウシ | 7月下～10月上 | 7.29～10.22 | 65 |
| 12 チッチゼミ | 7月下～11月上 | 8.13～10.28 | 49 |

ニニイゼミの記録
(5倍地域メッシュ図)



《 参考文献 》

徳本 洋 (1995) 石川県内セミ分布情報の過去、未来, 翔 (112) :1-6.

宮武頼夫・加納康嗣 (1992) 検索入門セミ・バッタ. 215pp. 保育社.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

宝立山の蛾類記録

富 沢 章

本会の松井正人氏が1997年8月30日に、奥能登の宝立山(468m)から輪島市側へ向けた灯火採集で得た蛾類を報告する。採集品を提供していただいた松井正人氏に感謝する。なお、採集品は筆者が保存している。

1997年8月30日 輪島市宝立山 松井正人採集

| | | | | | |
|----|---------------|----|----|-------------|----|
| 1 | マルモンシャチホコ | 1♂ | 30 | ウスベリケンモン | 1♂ |
| 2 | アカシャチホコ | 1♂ | 31 | ゴマケンモン | 1♂ |
| 3 | ホソバシャチホコ | 1♂ | 32 | アミメケンモン | 1♂ |
| 4 | ウスイロギンモンシャチホコ | 1♀ | 33 | ツメクサガ | 1♂ |
| 5 | クビワシャチホコ | 1♂ | 34 | オオカバスジャガ | 1♀ |
| 6 | クロテンケンモンズズメ | 1♀ | 35 | シロモンヤガ | 1♂ |
| 7 | ベニスズメ | 1♀ | 36 | オオバコヤガ | 1♀ |
| 8 | クルマスズメ | 1♂ | 37 | マエジロヤガ | 1♂ |
| 9 | シロヒトリ | 1♂ | 38 | セダカモクメ | 1♀ |
| 10 | キハラゴマダラヒトリ | 1♀ | 39 | ハイイロセダカモクメ | 1♂ |
| 11 | コベニシタヒトリ | 1♀ | 40 | アカモクメヨトウ | 1♀ |
| 12 | スジモンヒトリ | 1♂ | 41 | モクメヨトウ | 1♂ |
| 13 | スジベニコケガ | 1♀ | 42 | マルモンシロガ | 1♂ |
| 14 | アカスジシロコケガ | 1♂ | 43 | アオアカガネヨトウ | 1♀ |
| 15 | クロシタアオイラガ | 1♂ | 44 | ムラサキツマキリヨトウ | 1♂ |
| 16 | オオアヤシャク | 1♀ | 45 | ヒメサビスジヨトウ | 1♀ |
| 17 | ホソバナミシャク | 1♀ | 46 | ミツモンキンウワバ | 1♂ |
| 18 | フタヤマエダシャク | 1♂ | 47 | キシタバ | 1♀ |
| 19 | ツマトビシロエダシャク | 1♂ | 48 | クビグロクチバ | 1♂ |
| 20 | ウスクモエダシャク | 1♂ | 49 | タイワンキシタクチバ | 1♀ |
| 21 | フタテンオエダシャク | 1♀ | 50 | モンムラサキクチバ | 1♂ |
| 22 | ツマキエダシャク | 1♂ | 51 | マダラエグリバ | 1♂ |
| 23 | バラシロエダシャク | 1♂ | 52 | アオスジアオリング | 1♀ |
| 24 | モンキクロノメイガ | 1♀ | 53 | クロオビリング | 1♂ |
| 25 | マエアカスカシノメイガ | 1♀ | 54 | マエキリング | 1♀ |
| 26 | アカマダラメイガ | 1♂ | 55 | ギンボシリング | 1♂ |
| 27 | ヤマトカギバ | 1♂ | 56 | ヤマガタアツバ | 1♂ |
| 28 | アカウラカギバ | 1♀ | 57 | ハナマガリアツバ | 1♀ |
| 29 | スゲオオドクガ | 1♀ | | | |

《とみさわ あきら 〒923-0911 小松市大川町3丁目7-1》

虫屋とモバイルコンピューティング

嵯峨井 淳郎

いやな時代で、むやみやたらとカタカナやアルファベットの文字が氾濫している。翔131号に「昆虫関係ホームページにアクセスしよう」というタイトルで原稿を書いた。全く虫とは関係の無い、またコンピュータ等に興味のない人に見られてしまい、「MM、MAC、HP、TA、DSU・・・こりゃいったい何や。わしゃ、全然わからん・・・」と言われてしまった。

その人曰く、昆虫採集は暗いイメージらしい。筆者自身は決してそんな風には思っていないが、第三者の視点からすると、どうも暗いイメージに映るらしい。昔、コレクターという外国映画があったが、あの映画の主人公の行状が災いしているらしい。蝶を採って標本にしてニヤニヤしているところが残酷に見え、最近のMI事件やK0事件の犯人と何ら変わらないところを連想してしまうと言われてしまった。

しかし、その人は魚釣りが大好きで、「釣った魚をその場で料理して、刺身にして喰ったり、焼いてカンピールやワンカップのツマミとして喰っておるやんか」「ワシらからみりゃ、ワレの方がよっぽど残酷や」とほざいてみたが、内心MI・K0事件の犯人と変わらんとされたことが、心にグサリと刺さったままである。

また、その人の言い草にもう1つ。「最近、インターネットやたらイントラネットやたら言うてかって、猫も杓子も騒いどるけど、あれかって今言うオタク族や。大の男がちっちゃいパソコンの前でキーボードをコチョコチョ、マウスをクリクリ、駄らくさて見とれんわ。あ～あ暗い、暗い。ほんな事しとるくらいなら、酒飲んでサッカーでも観とった方が、何ぼか健康や・・・あ～あ心が腐る・・・」と。

ムーバやPHSといった、最近1人1電話時代が近づきつつある昨今、何時でも何処でも何処からでもというキャッチフレーズが効き過ぎて、大変な携帯電話ブームとなっているが、PHSも開発時に模索した将来像が軌道に乗り、PHS端末にコンピュータを接続した、いわゆるモバイルコンピューティングが実現している。

昨年(1997年)、ギフチョウ(春)やゼフ(夏)を採集していた時に「あ～時代だな～」と思った事がひとつ。ネットを振りながら携帯電話を使っている採集人を2人も見てしまった(ただし石川県人ではない)。何も電話しながらネットを振らなくたって、と思うかも知れないが、そこがまた良いのかも知れない。

今後の事を予想するならば、きっとですよ、モバイル通信しながらネットを振る人が出てくるのではないか。例えば竹谷カメラマンが、小幡、田辺カメラマンがPHSにモバイル通信用のデジカメを接続したクライアント端末で、撮影した蝶を即誰かに送信する。などとあきれた想像をするある日のひとこまでした。

でも、これはもうすぐそこまで来た現実なのであります。

《さがい じゅんろう 〒921-8145 金沢市額谷3-18-2》

ものでは無く、沖縄から移植した木の根に付いて不法侵入したらしい。金沢市内でもクマゼミの声が時々聞こえるが、この発生源も移植された木々かもしれない。

イリオモテヤマネコは過保護か
イリオモテヤマネコを見た
井村会長、「こつちは確認しているのに、向こうは全然気づいていない。なんちゆう鈍くさいやつちゃ。首に発信器付けてるから間違はなくヤマネコだ。」これってヤマネコが鈍くなつてんじゃないの。

富山県産百二十三種を収蔵
富山県産の蝶は百二十五種、富山市科学文化センターの収蔵標本はなんと百二十三種。オオイチモンジとフタスジチヨウの二種が抜けているが、オオイチモンジはこれまでに一雌しか記録されていない代物。これを機会にセンターは、三月二十二日から特集展示を組み、収蔵標本目録を出版した。この目録、収蔵

の百二十三種三千八百一個体と、個人の標本目録および百二十五種の既知産地も掲載している優れたものだ。

変則勤務がもたらすものは
定時に出勤する生活を長年続けた富沢氏、昆虫館勤務とともに変則勤務へとシフト。休日と曜日の関係は全く無くなり、休日は平日にやってくる。メリット、デメリットいろいろあるが、「失業したらしい」との噂には参つたらしい。それからは、休日でも定時に家を出るらしい。

「石川県の昆虫」販売中
A四判五百二十七頁七千九百十二種掲載、送料別四千元。申し込みは谷印刷まで。
☎(〇七六)二四二一七二六七
F(〇七六)二四七七一八一
勝海氏、石川県各地に出没
連休中はカミさんのお里へ帰る事に決めている勝海氏、今年も家族でやってきた。カミさんと子供は実家に残し、

本人は各地で採集活動。カミさんに喜ばれ、実家からも喜ばれ、おまけにムシもいっぱい採れて一挙全得。

悪夢か絶景か板尾の悪臭事件
ミヤマカラスアゲハを求めて板尾へ通う嵯峨井氏、前回はその予兆を感じ取っていたものの搜索はしなかった。今回は鼻ももげそうな悪臭から念を入れて探すと、なんとカモシカの腐乱死体とそれに群がるおびただしい数のミヤマカラス、スミナガシ等々。

例会の記録

四月二日(木)城南管工二階にて八時から開催。

新入職員歓迎宴会が随所で行われる中、例会の参加者は少なかつた。しかしながら、遠くは福井から駆けつけた山岸氏を交え、ホットな虫談義に花が咲く。

話題を拾うと、むせかえるシユクシヤの香り、ヨハネスブルグ魅惑の蝶、村本理恵子のむしむしネット、加賀市の

クロマダラ、東大の教授等々。参加は、山岸、久慈、中西、井村の四人。

例会の記録

五月七日(木)城南管工二階にて八時から開催

昆虫目録執筆から集まった正誤表を富沢氏がまとめ、昆虫目録正誤表が完成。大きな声では言えないが、正誤表で一種抹消されてしまったので、四十五ページの総種数は一種減になってしまった。等々昆虫目録(正式名は「石川県の昆虫」)の話がメイン。

その他の話題は、季節は二十日ほど早い、四国のオオトラはでかい、愛知のオオトラ死す、日尾池のギフチヨウ、「富山県の蝶」はずごい、磯たもの改造法、ハルゼミの記録募集、沖縄往復五万円、沖縄の民宿に発電器を預ける、なぜか気になるエサキの死骸、若い女性の正体は、等々。参加は、竹谷、久慈、富沢、井村、松井、江崎、西原の七人。【表紙デザイン…小幡英典】

会員の動き・しゃべの動き

ギフチヨウ初飛観察は二十八日
 今年の初飛は三月二十日前後と予想していたが、休日と天気の巡り合わせが悪く、観察されたのは二十八日。かなり前から発生していたようで、当日は各地で多数の♀も観察された。

正誤表作成でウンザリ気分
 印刷前にあれだけ読み返し、見るのもイヤになった昆虫目録、配布前の最後のエラーチェック。新たな気分で取りかかっていたが、どうも気分が乗りません。早く皆様の手元に届けたいのですが。

東京に移った野中 勝氏
 海老フリヤーも食べ飽き、近辺の虫も取り飽きた野中のオジさん、家族の反対にもめげず居を東京に移した。既に

東北の虫が眼中にあり、早くも金沢の秘密兵器に声がかかっている。新住所は、杉並区上井草二の四〇の七〇三―五三一―七一六八
 mmonaka@biol.s.u-tokyo.ac.jp

四月四日ギフチヨウ大乱舞
 三月下旬は初夏を思わせる暖かさで、各地のギフは一月に翔び出した。ところが、四月に入るや一転雪が降り、寒い日々が続いた。暖かさが戻った四日、足踏みしていたギフが一斉に発生し、各地で大、大、大乱舞が見られた。

井村会長密かに沖縄へ出発
 一回目は蝶、二回目はカミキリ、三回目はゲンゴロウと沖縄通いを続けている井村会長、今回は何を狙って飛んだのだろうか。

片手にオノ、片手にアミ朽木崩しに精を出す富沢氏、最近はおっぱら神社林へ通っている。特にほつたらかしの神社林にはおいしい朽木があるらしいが、民家周辺で見知らぬ者がオノを持ち歩いていると、危険人物に間違われる。そこで、必要も無いのにアミを持って行くらしいが、はたして善良な昆虫採集者と判断されるのだろうか。

何から何まで早い早い
 ギフチヨウの季節があつという間に過ぎ去ったかと思うと、十六日にはハルゼミが鳴きだし、二十四日にはウスバシロも飛び出した。まだ四月なんだけどなあ。

放蝶温室でクマゼミが羽化
 昆虫館の温室でクマゼミの抜け殻を発見した富沢氏、大捜査網を敷き成虫を捕獲。この際、抜け殻二つを追加し、リュウキュウアブラゼミも捕獲した。このセミ、放虫した

翔

NO. 132

1998年6月1日発行

百万石蝶談会

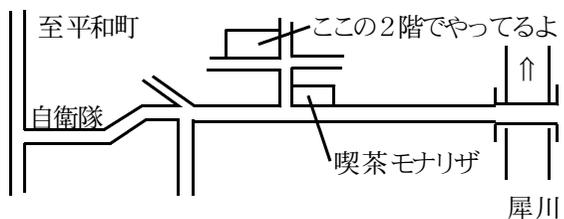
金沢市大場町東871-15 松井方

☎920-3121 ☎076-258-2727

郵便振替 00750-8-562

印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から
 TEL 参加もOKです (076-244-3318)



目 次 (132号)

| | |
|------------------------|---|
| 松井正人：加賀南部でアオマダラタママシを確認 | 1 |
| 井村正行：石川県のツヤハダクワガタの追加記録 | 2 |
| 嵯峨井淳郎：アサギマダラの早い目撃例 | 2 |
| 松井正人：ウスバシロチョウの早い記録 | 3 |
| 松井正人：セミの記録を集めよう | 3 |
| 富沢 章：宝立山の蛾類記録 | 5 |
| 嵯峨井淳郎：虫屋とモバイルコンピューティング | 6 |
| 編 集 部：会員の動き・しゃばの動き | 8 |